

Fracture

Humerus 6

Supracondylar 顆上 4

後遺症

- 内反

Volkman 2

Volkman拘縮

Lateral Condyle 外顆 2

後遺症

- 外反

Radius 橈骨 3

Colles 2

フォーク状変形・Colles骨折

Sudeck骨萎縮
骨折の後の, 自発痛, 運動痛, 浮腫とともに, 骨萎縮
交感神経の異常 ⇒ 複合性局所疼痛症候群
距骨骨折, Colles骨折の後に

Femur 大腿骨 5

大腿骨近位部骨折

大腿骨の骨折部位と治療法

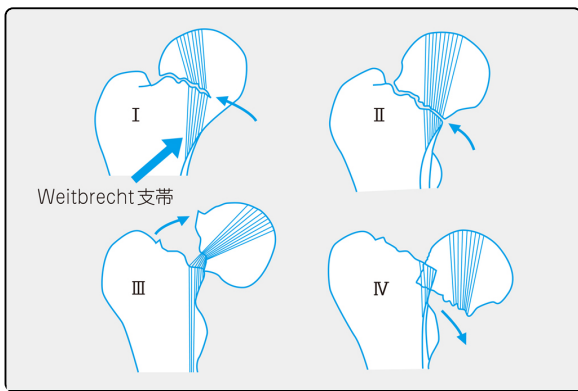
I 近位部	(i) 頭部 { 人工骨頭置換 ねじ固定 }
	(ii) 転子部 { 髓内釘固定 (Ender釘) プレート固定 }
II 骨幹部	{ プレート固定 髓内釘固定 (Rushピン, Küntscher髓内釘) }
III 顆部	…ねじ固定

Femoral Neck 4

大腿骨頸部骨折

Garden 分類

I: 不完全骨折



II: 完全骨折 転位(-)
III: 骨頭が回転転位
IV: 骨頭が回転せずに転位

Tibial 脛骨 2

脛骨骨幹部閉鎖性骨折の治療

- 保存的加療
- プレート固定法
- 髄内釘固定法
- 創外固定法

Compartment 5

Compartment synd 6P

激しい疼痛	pain
知覚異常	paresthesia
麻痺	paralysis
脈拍消失	pulselessness
蒼白	palleness
他動的伸展による激痛	passive stretch test / stretch sign

CRPS 複合性局所疼痛症候群 1

CRPS 複合性局所疼痛症候群

自覚的症状

(病期のいずれかの時期に、以下の自覚的症状のうち2項目以上該当すること)

1. 皮膚・爪・毛のうちいずれかに萎縮性変化
2. 関節可動域制限
3. 持続性ないし不釣り合いな痛み、しびれたような針で刺すような痛み、または知覚過敏
4. 発汗の亢進ないしは低下
5. 浮腫

他覚的所見

(診察時において、以下の他覚的所見の項目を2項目以上該当すること)

1. 皮膚・爪・毛のうちいずれかに萎縮性変化
2. 関節可動域制限
3. 異痛症(触刺激または熱刺激) ないしは痛覚過敏(ピンプリック)
4. 発汗の亢進ないしは低下
5. 浮腫

Pediatrics 3

Treatment

- 非観血的に
- 自然矯正
 - 屈曲変形
 - 短縮変形

Open Fracture 2

開放骨折の処置

経過時間	6時間以内	それ以上
ブラッシング	必須	必須
洗浄	必須	必須
デブリドマン	必須	必須
創外固定	好まれる	必須
内固定	可のことあり	禁忌

骨折の治癒過程

炎症期	修復期	リモデリング期
血腫形成 マクロファージ浸潤 間葉系細胞出現 骨形成細胞の増殖	軟骨細胞出現 (内軟骨骨化) 骨芽細胞出現 仮骨形成部の海綿骨化	
	コラーゲン新生	
毛細血管新生		皮質骨新生

血流が少ない
⇒ 骨癒合が起こりにくい

大腿骨頸部骨折

手の舟状骨骨折

脛骨中下1/3骨折

Quiz

23 Qs / 23

82C65 診断 ⇒ 合併症

M M

65歳の女性。

路上で右手掌をついて転倒した。右手関節部の腫脹と疼痛とが出現し、X線単純写真で骨折がみられる。

この骨折で起こしやすい合併症はどれか。3つ選べ。

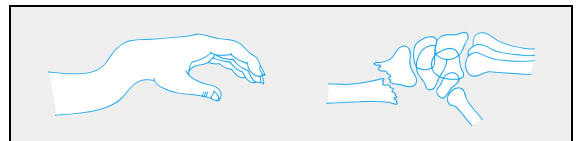
- a. 偽関節
- b. 橈骨神経麻痺
- c. 手根管症候群
- d. 長母指伸筋腱断裂
- e. Sudeck骨萎縮

Dx : Colles 骨折

True: c d e

- a.
- b. 橈骨神経麻痺: 上腕骨骨幹部骨折
- c.
- d. 長母趾伸筋腱断裂: 治癒後に長母指伸筋の皮下断裂
- e. Sudeck骨萎縮: 距骨骨折, Colles骨折 ⇒ Sudeck骨萎縮

フォーク状変形・Colles骨折

**Sudeck骨萎縮**

骨折の後の, 自発痛, 運動痛, 浮腫とともに, 骨萎縮

交感神経の異常 ⇒ 複合性局所疼痛症候群

距骨骨折, Colles骨折の後に